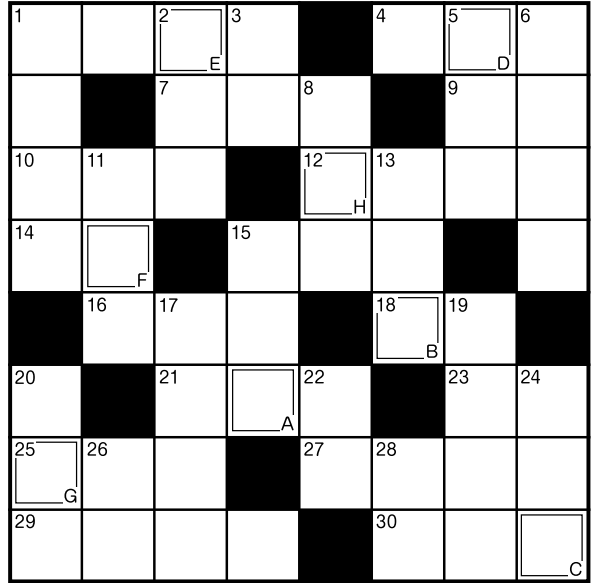


(2024年7月)

ヨコのヒント

- はくちょう座のデネブ、こと座のベガ、わし座のアルタイルがつくる「夏の大○○○○」。
- 自国通貨と外国通貨との交換比率を○○○相場、もしくは○○○レートといいます。
- ラムサール条約に登録されている北海道東部の○○○湿原。タンチョウの生息地としても知られます。
- 日没後、西の空に見える金星のことを「○○の明星」といいます。
- 琢磨。「仲間と互いに励まし合い、競い合って、向上する」という意味です。
- ためらってばかりで、態度がはっきりしない様子を表す擬態語。
- の上にも三年。何事も辛抱強くやれば、結果が得られるものです。
- 相撲、○○○舞台、○○○合点。○○○に共通して入ることばは？
- 「日本の植物学の父」といわれる○○○富太郎。独力で植物学を学び、全国を回ってたくさんの植物を採集・分類しました。
- 「○○路はすべて山の中である」。島崎藤村作『夜明け前』の冒頭です。
- 日本有数の豪雪地帯である、秋田県○○○市。伝統行事「かまくら」で有名です。
- 人は家柄より、どのように育ったかのほうが大切。「○○より育ち」といいます。
- 漢字2字の熟語について、「場所」「夕飯」のように、上の字を訓で、下の字を音で読むことを「○○○読み」といいます。
- 「○○○○は、国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関である。」(日本国憲法第41条)
- 足利義満が京都北山の山荘内に建てた3層の建物。山荘は義満の死後、鹿苑寺となりました。
- 物事が起こる原因となること。「設計ミスに○○○するビルの崩壊」などと使います。



【答え】

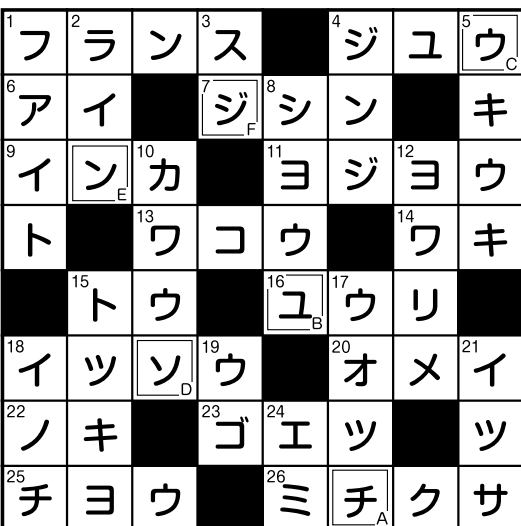
A	B	C	D	E	F	G	H

- タテのヒント**
- 水力・風力・地熱・太陽光など、使ってもなくならず、繰り返し利用できる○○○○可能エネルギー。
 - 個人や国などの間で生じる経済力の差のことを「経済○○○○」といいます。
 - 思いつくままに使っていい。「AI技術で○○○○する」などと使います。
 - 日本風と西洋風の両方を上手に取り合わせることを「○○○○折衷」といいます。
 - かつて20歳だった日本の○○○年齢は、2022年4月から18歳となりました。
 - 紙と○○○○を用いて、る過る。
 - 海流は日本海流(黒潮)の分流。日本海を南西から北東に流れます。
 - ほかの人に頼らない、自分ひとりの力。
 - 火が燃え上がるときに飛び散る細かな火。
 - 江戸時代に流行した、政治家や社会を皮肉った短歌。
 - さわやかで気持ちが良い様子。「○○○○」など使います。
 - 小倉山、峰のみみち葉心あらばいまひとたびの○○○待たなむ(貞信公)
 - はさみ、くき抜き、ボートのオイル。いずれも○○○の原理を利用して使います。
 - 「○」は何を表す地図記号でしよつ。
 - 重さの単位。1○○は1000キログラムです。
 - 4月の日米首脳会談で、早ければ2028年に、日本人宇宙飛行士が○○に降り立つことが含意されました。

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F
チ	ユ	ウ	ソ	ン	ジ



★中尊寺

中尊寺は若手県南西部、平泉町にある天台宗の寺院。前九年合戦(1051～62年)と後三年合戦(1083～87年)の後から、源頼朝に滅ぼされる1189年までのおよそ100年間、三代(清衡・基衡・秀衡)にわたって東北地方を支配した奥州藤原氏ゆかりの寺です。境内は国の特別史跡に指定されており、2011年には「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」を構成する資産の一つとして世界遺産(文化遺産)にも登録されました。

この中尊寺には、たくさんの国宝や重要文化財があります。その一つが、初代・藤原清衡が、今からちょうど900年前の1124年に建立した金色堂(阿彌陀堂)です。中尊寺創建当時の唯一の完全な遺構で、大きさは床面の1辺が約5.5m、高さが約8m。象牙や宝石で飾られ、扉・壁・軒から床面に至るまで漆塗りの上に金箔を貼って豪華に仕上げられています。また、阿彌陀三尊など国宝の仏像11体が置かれた堂内中央の須弥壇の下には、金色の棺に納められた藤原三代の遺体が安置されています。建立当時は屋外に建てていました。後に、風雨から守るために、金色堂をすっぽり包む形で覆堂が建設されましたが、現在は解体修理をして建立当時の姿に復元したうえで、覆堂内のガラス張りのスペースに収められています。

平泉とこの中尊寺には、奥州藤原氏が滅亡してからちょうど500年後の1689年の初夏、俳人の松尾芭蕉が訪れました。藤原氏の栄華の痕跡がなくなった平泉の様子を目にした芭蕉は「夏草や 兵どもが 夢の跡」と詠みます。続いて、芭蕉は中尊寺に足を運び、美しい金色堂を参詣して、「五月雨の 降り残してや 光堂」という句も残しました。「あらゆるものを朽果てさせた五月雨(梅雨の長雨)だが、光堂(金色堂)にだけは降り残したのだろうか。500年を経た今も、ここだけは色あせずに美しいままだ」と詠んだものです。中尊寺には、芭蕉の像とともに、この句を刻んだ句碑があります。

ヨコ

- フランス
- 自由(じゆう)
- 藍(あい)
- 自信(じしん)
- インカ
- 余剰(よじょう)
- 倭寇(わこう)
- 脇(わき)

タテ

- ファイト
- ライン
- 筋(すじ)
- 人事(じんじ)
- うきうき
- しょう油(しょうゆ)
- カワウソ
- 弱り目(よわりめ)
- 唐(とう)
- 有利(ゆうり)
- 一掃(いっそう)
- 汚名(おめい)
- 軒(のき)
- 呉越(ごえつ)
- チョウ
- 道草(みちくさ)
- 特許(とっきょ)
- ウオッチ
- 命(いのち)
- 雨後(うご)
- 一茶(いっさ)
- 笑み(えみ)